

今戸焼 干支人形

こまもりさる 子守申



いまだやき つちにんぎょう
今戸焼の土人形は昔「一文人形」と呼ばれ
一文銭で買える子供の玩具を作り親しまれてい
ました。一文人形が割れると子供の癪が治まる、
厄が落ちるといった縁起物でもありました。

日本の民話で、子猿を助けてもらった親猿が
御礼に不思議な力が宿った一文銭を恩返しに
贈り、家族を幸せにするというお話があります。
この幸運をもたらす猿の宝の一文銭にあやかり
このたび制作した干支人形の座部に寛永通宝
(一文銭)を押印し、子供の成長と未来への希望の
願いを込めて、子守り申(こまもりさる)と名づけ
子を守る宝を携えた親子猿の人形を作りました。

皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

今戸焼 白井

六代 白井 裕一郎